

# 中学部 国語科 学習指導案

日 時：令和4年1月29日（土）

9：30～10：20

場 所：3年生教室

対 象：Bグループ 3名

授業者：三浦 隆一 柳井 貴恵

1 題材名 『ポプラデリバリー』で、お客さんに荷物を届けるために、もの、位置の視点に沿って指示を聞いたり、相手に伝わるように話したりしよう

## 2 題材設定の立場

### (1) 題材について

生徒観	<p>本グループは3年生3名（J・M・L）の生徒が在籍している。学習の内容や活動にわからないことがあったり、興味をもてなかったりした場合、手が止まる、他の話をはじめなどの姿が見られることがある。また、休日明けや、いつもと異なる日程のときは、気持ちの切り替えが難しく離席したり、ひとり言が多くなったりする生徒が多い。しかし、学習の時間や仕方について個別に約束をすると、気持ちを切り替えて活動に取り組む姿が見られる生徒たちである。</p>
系統観	<p>本グループでは、中学部1段階の聞くこと・話すことを扱っている。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>小学部3段階 「だれ」「どこ」「なに」「どうした」の視点と場面の順序がわかるように話したり、指示を聞いて行動したりする</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>中学部1段階 文を読み、出来事と「なぜ」と聞かれたことに対する理由を話す</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中学部1段階 ものや場所についての視点を、より詳しく伝えたり、聞き取ったりして行動する</p> </div> </div> <p>これまで聞くこと・話すことを扱う題材では、「だれ」「どこ」「なに」「どうした」の視点から話の内容を聞き取って行動したり、場面の順序がわかるように「はじめに」「つぎに」のことばを使ったりする学習に取り組んできている。また、話の内容の大体を整理し、出来事に「なぜ」と問われて理由を答える学習にも取り組んでいるため、「どのような」について聞いたり、話したりできるようになると考える。本題材では、これまでに学習した視点を基にして、ものや場所について、より視点を聞き取ったり、話したりすることを指導する。また、ものの視点については、色や形、数などの入った内容を聞くことができるようになってきているため、伝える必要のある視点を判断し、相手にわかるように伝えられるようにしていきたい。</p>
指導観	<p>日常生活の中で、教師から頼まれてものを取りに行ったり、片づけたりするときなど、ものの名前や場所はわかっているが、ものや場所を詳しく表す「どのような」の視点が聞き取れていない姿が見られる。「どのような」を聞き取って行動できるようになると、学校や家庭で任される仕事が増えることや、将来働く際に指示を聞いて働くことができるようになると思えられる。そこで、本題材では聞くことを中心にし生徒の実態に応じて話すことも取り入れた学習活動を設定する。また、ものや場所を判断するときに必要となる視点に気づくことができるように、聞き取った視点に○印を付けて行動するためのメモ代わりとなる教具を使うようにする。</p>
教材観	<p>『ポプラデリバリー』では、教師や友だちの指示を聞いて、指示に沿ったものを届ける学習に取り組む。職員室に2台プリンターがある場合など、「～側」「～の手前、奥」「～ではない方」のようにどこを示しているかがわかるように、ことばを聞き取る場面を設定する。扱うものについては普段の学校生活や家庭生活でよく使うものや好きなものを取り入れることで、生徒が活動に取り組みやすく、生活場面で生かすことにつながると考えた。また、聞くこと、話すことの両方の役割を学習することで、相手に伝わるように視点を加えることの必要性を感じ、内容を考えて話したり、聞き取る視点を考えたりしてほしい。</p>

### (2) 生徒の実態と指導の方向

生徒の実態	
J	<p>【一般的な実態】 CA：15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな番組などのセリフを覚えて、それを話し続ける姿がみられる。</li> <li>気になるものや音を見たり聞いたりすると、そのものや音の方に近づいていこうとする。</li> </ul>

J	<p><b>【指導方法に関わる実態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容がわからないときなどにひとり言を言ったり、離席したりする様子がみられる。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力・人間性等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に見通しをもつことができたり、好きなキャラクターが教材に取り入れられていたりすると、最後まで続けて活動に取り組むことができる。</li> </ul> <p><b>【本題材に関する実態】</b></p> <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点を問われたとき、人は「誰」、ものは「何」、動作は「動き」、場所は「どこ」と答える。</li> <li>・ものの視点の色、形、数の要素や、場所の視点の上下左右の位置関係がわかる。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が「机の上の小さくて白いかごを持って来て」と言うと、イスに座ったまま動かないことがある。</li> <li>・視点を入れて話をするとき、「誰」「どこ」などの視点が足りないことがある。</li> <li>・視点が足りないとき、教師のことばかけを聞いて必要な視点到に気づく。</li> </ul>
	<p><b>【指導の方向】</b></p> <p>ものの状態や様子を表すことばの入った指示を聞くとき、視点を聞き取り、そのことばが表すことばと具体物を結びつけられるようにしたい。その際、ことばが意味する状態や様子とは異なるものと比較することで、違いを確かめ、ことばの意味の定着を図るようにしていく。また、具体的に示しにくい場所を表すことばについては、日常の場面でも活用できるように学校生活や家庭生活の中でよく使われる「～の手前、奥、中央」「～側」「～ではない方」などを取り上げて指導したい。</p>
M	<p><b>【一般的な実態】</b> CA : 15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の途中で、教室から出て行くことがある。</li> <li>・問いかけに対して、単語のみで答えることがある。</li> <li>・はじめての活動など、教師を呼び一緒にしてもらおうとする。</li> </ul> <p><b>【指導方法に関わる実態】</b></p> <p>&lt;学びに向かう力・人間性等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなキャラクターが教材に取り入れられていると、進んで課題に取り組む。</li> <li>・仕方がわかり、見通しをもてるようになると教師と一緒に提示された課題に取り組む。</li> </ul> <p><b>【本題材に関する実態】</b></p> <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点を問われたとき、人は「誰」、ものは「何」、動作は「動き」、場所は「どこ」で答える。</li> <li>・ものの視点の色、形、数の要素や、上下左右の位置関係がわかる。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものや位置の違いを説明する指示を聞いてものを選び取るとき、指示とは異なるものや違う場所から選び取ることがある。</li> <li>・指示を聞いて行動するとき、数や形などものに関する視点が抜け落ちて行動することがある。</li> </ul>
	<p>&lt;学びに向かう力・人間性等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明を聞き、納得するとその仕方で取り組むことができる。</li> </ul> <p><b>【指導の方向】</b></p> <p>ものの状態や様子を表すことばの入った指示を聞くとき、視点を聞き取り、そのことばが表すことばと具体物を結びつけられるようにしたい。その際、ことばが意味する状態や様子とは異なるものと比較することで、違いを確かめられるようにしていきたい。また、具体的に示しにくい場所を表すことばについては、学校生活や家庭生活の中でよく使われる「～の手前、奥、中央」「～側」「～ではない方」などを取り上げて日常の場面でも活用できるようにしたい。聞き取るときには、視点を聞き落とししたり、行動するとき聞き取ったことを忘れてしまわないように視点などに印を付けて記録をつけるメモシートを使用して取り組むようにする。</p>
	<p><b>【一般的な実態】</b> CA : 14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習など体を動かす学習活動では、自分の仕事に最後まで取り組む。</li> <li>・人前で話をするとき、早口になることがある。</li> </ul>
L	<p><b>【一般的な実態】</b> CA : 14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習など体を動かす学習活動では、自分の仕事に最後まで取り組む。</li> <li>・人前で話をするとき、早口になることがある。</li> </ul>

**【指導方法に関わる実態】**

<学びに向かう力・人間性等>

- ・活動に見通しをもてたり、好きなキャラクターが教材に取り入れられていたりすると、最後まで活動に取り組むことができる。
- ・仕方がわかり、見通しをもてるようになると自分から進んで取り組む。
- ・教師の助言を聞き、納得するとその仕方で取り組むことができる。

**【本題材に関する実態】**

<知識及び技能>

- ・視点を問われたとき、人は「誰」、ものは「何」、動作は「動き」、場所は「どこ」で答える。
- ・色、形、数などものの視点の要素や、上下の位置関係がわかる。
- ・場所を説明するとき、「左側に冒険ランドがあります」など左右の位置関係がわかる。

<思考力・判断力・表現力等>

- ・「右側の棚の上にある穴あけパンチを取って」など指示をしたとき、「わからない」と言うことがある。
- ・視点をに入れて話をするとき、数などのものに関する視点が足りないことがある。
- ・視点が足りないとき、教師のことばかけを聞いて必要な視点に気づくことがある。

**【指導の方向】**

ものの状態や様子を表すことばの入った指示を聞いたり、話したりするとき、そのことばが表すことばと具体物を結び付けられるようにしたい。そのとき、そのことばが意味する状態や様子とは異なるものと比較することで、違いを確かめられるようにしていく。また、位置を表すことばについては、日常の場面でも活用できるように、学校生活や家庭生活の中でよく使われる目印となるものの名前を使って「～の手前、奥、中央」「～側」「～ではない方」などを取り上げて指導したい。

**3 題材目標 ※「知識及び技能」を「知」、「思考力・判断力・表現力等」を「思」で示している**

題材目標		学習指導要領の扱う内容
J・M	知	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき、ものや位置を説明することばとその意味がわかり、もの、位置を選ぶことができる
	思	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき、説明することばから、指示に合うものや位置を選ぶとよいかを判断し、指示通りに行動する
L	知	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞いたり、話したりするとき、ものや位置を説明することばがわかり、ものや位置を聞き取ったり、説明することばで伝えたりすることができる
	思	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞き取ったり、説明したりするときその場面に適した内容のことばを選び、指示通りに行動し、相手に伝わるように説明することばを入れて話す
全	学	ことばがもつよさに気づくとともに、考えたり、伝え合ったりしようとする態度を養う。

**4 題材計画 ※資料末尾にA3別紙で記載**

**5 本時案 (全9時間の5時間目)**

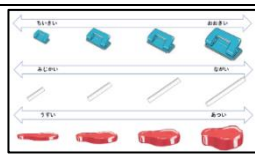
(1) 題目 『ポプラデリバリー』で、もの、位置を表すことばが入った指示を聞き、指示に合うものを持って来たり、持って行ったりしよう

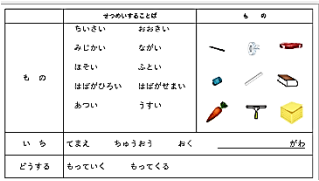
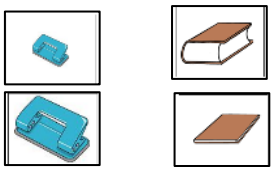
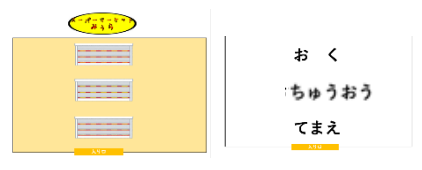
**(2) 本時のめあてと評価規準**

観点別の本時のめあて		評価規準
J・M	知	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき、説明することばの意味がわかり、説明することばに合うものを選ぶ
		ものの違いを説明することば (一番「大きい」「小さい」「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」「厚い」「薄い」) や位置の違いを説明することば (手前、奥、中央) の入っ

J・M		た指示を聞いて位置シートにもものカードを置く、位置シートに置かれたものカードの中からカードを選ぶ ※支援あり（6問中、1問目を除く5問正答）
	思	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞くと、ものや位置の違いを説明することばから指示に合うものを持って来たり持って行ったりする ※支援あり（4問中、1問目を除く3問正答）
L	知	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞いて、説明することばの意味がわかり、説明することばに合うものを選んだり、ものを見て、ことばで表現したりする ※支援あり（6問中6問正答）
	思	ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞くと、指示に合うものを選び、持って来たり持って行ったりする ※支援あり（4問中4問正答）
全学	A3資料「4 題材計画」に記述した主体的な姿が見られるかどうかで題材終了後に評価をする	

**(3) 場面設定と準備物**

場面設定	意図と工夫点	準備物
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">黒板</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">聞き取り場</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もの カード 置き場</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">L</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もの カード 置き場</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">J</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">M</div> </div>	<p>落ち着いて学習に取り組むことができるようHRと同じ座席にした。活動の流れをわかりやすくし、指示を聞きとりやすくするために聞き取り場を設けた。</p>	 <p><b>教具名</b> 説明早見表 <b>意図と用途</b> ものや位置の違いを説明することばをイラストで示し、選んだものが合っているかやどのように表現すればよいかを確認するために使用する。</p>

準備物		
		
<p><b>教具名</b> メモシート <b>意図と用途</b> 内容を忘れずに行動できるように、指示を聞いた後に、聞き取った指示の視点を、リストの中から選んで印をつけてから行動するためのシート。</p>	<p><b>教具名</b> ものカード <b>意図と用途</b> ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞き、指示に合うものを選ぶために、幅や長さなどが異なるカードを使用する。</p>	<p><b>教具名</b> 位置シート 確かめシート <b>意図と用途</b> ものカードを置く位置を言い表す必要性をもつためのもの図。手前、奥、中央の位置を確認するために、確かめシートを位置シートに置いて使用する。</p>

**(4) 展開 ※資料末尾にA3別紙で記載**

4 題材計画

		一次			二次			三次				
時数		1	2	3	4	5	6	7	8	9		
J	知技	ものの違いを説明することばの入った指示を聞くとき			位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき			もの、位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき				
	できた姿	説明することばに合うものを選ぶ			説明することばに合う位置を選ぶ 「手前」「中央」「奥」			説明することばに合う位置を選ぶ 「手前」「中央」「奥」			「～の方」や、「～側」などのように名詞（廊下の方、グラウンド側など）の入った指示を聞き取る	説明することばを聞き取って行動する
	思判表	「大きい」「小さい」のことばの入った指示を聞くとき	「長い」「短い」「細い」「太い」のことばの入った指示を聞くとき	「幅が広い」「幅がせまい」「厚い」「薄い」のことばの入った指示を聞くとき	「位置の違いを説明することば（手前、中央、奥）の入った指示を聞くとき	ものの違いを説明することば（一番「大きい」「小さい」「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」「厚い」「薄い」）、位置の違いを説明することば（手前、中央、奥）の入った指示を聞くとき	位置を説明することば（～の方、～側）の入った指示を聞くとき	ものの違いを説明することば（一番「大きい」「小さい」「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」「厚い」「薄い」）、位置の違いを説明することば（～の方、～側）の入った指示を聞くとき				
	表出像	同じ種類のものの中から、説明することばに合うものを選ぶ			説明することばから、位置を選び、ものを持って行ったり持ってきたりする			説明することばから、もの、位置を選び、指示に合うものを持って来たり、持って行ったりする（5・6時間目支援あり、7・8・9時間目支援なし）				
M	知技	ものの違いを説明することばの入った指示を聞くとき			位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき			もの、位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき				
	できた姿	説明することばに合うものを選ぶ			説明することばに合う位置を選ぶ 「手前」「中央」「奥」			説明することばに合う位置を選ぶ 「手前」「中央」「奥」			「～の方」や、「～側」などのように名詞（廊下の方、グラウンド側など）の入った指示を聞き取る	説明することばを聞き取って行動する
	思判表	「大きい」「小さい」のことばの入った指示を聞くとき	「長い」「短い」「細い」「太い」のことばの入った指示を聞くとき	「幅が広い」「幅がせまい」「厚い」「薄い」のことばの入った指示を聞くとき	位置の違いを説明することば（手前、中央、奥）の入った指示を聞くとき	ものの違いを説明することば（一番「大きい」「小さい」「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」「厚い」「薄い」）、位置の違いを説明することば（手前、中央、奥）の入った指示を聞くとき	位置を説明することば（～の方、～側）の入った指示を聞くとき	ものの違いを説明することば（一番「大きい」「小さい」「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」「厚い」「薄い」）、位置の違いを説明することば（～の方、～側）の入った指示を聞くとき（支援なし）				
	表出像	同じ種類のものの中から、説明することばに合うものを選ぶ			説明することばから、位置を選び、ものを持って行ったり持ってきたりする			説明することばから、もの、位置を選び、指示に合うものを持って来たり、持って行ったりする（5・6時間目支援あり、7・8・9時間目支援なし）				
L	知技	ものの違いを説明することばの入った指示を聞くとき			位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき			もの、位置の違いを説明することばの入った指示を聞くとき、		もの、位置を説明することばの入った指示を話すとき		もの、位置の違いを説明することばの入った指示を聞いたり、話したりするとき
	できた姿	説明することばに合うものを選ぶ	説明することばに合う位置を選んだり、ものを見て、ことばで表現したりする			説明することばに合うものを選んだり、ものを見て、ことばで表現したりする			説明することばに合うものを選んだり、相手に選んでほしいものを、説明することばを使い指示を伝えたりする		説明することばに合うものを選んだり、相手に選んでほしいものを、説明することばを使い指示を伝えたりする	
	思判表	「大きい」「小さい」のことばの入った指示を聞くとき	「長い」「短い」「細い」「太い」のことばの入った指示を聞くとき	「幅が広い」「幅がせまい」「厚い」「薄い」のことばの入った指示を聞くとき	位置の違いを説明することば（手前、中央、奥、～の方、～側）の入った指示を	ものの違いを説明することば（一番「大きい」「小さい」「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」「厚い」「薄い」）、位置の違いを説明することば（手前、中央、奥、～の方、～側）の入った指示を聞いたり話したりするとき、	位置の違いを説明することば（手前、中央、奥）の入った指示を	位置の違いを説明することば（手前、中央、奥、～の方、～側）の入った指示を	もの、位置の違いを説明することば（一番「大きい」「小さい」「長い」「短い」「幅が広い」「幅が狭い」「厚い」「薄い」）、位置の違いを説明することば（手前、中央、奥、～の方、～側）の入った指示を聞いたり話したりするとき、			
	表出像	同じ種類のものの中から、説明することばに合うものを選ぶ			ものや位置を説明することばに合うものを選び、持ってきたり持って行ったりする			ものや位置を説明することばに合うものを選び、持ってきたり持って行ったりする		説明することばに合うもの、位置を選び、持ってきたり持って行ったりする 説明することばを決めて、ものや位置について話す（支援なし）		説明することばに合うもの、位置を選び、持ってきたり持って行ったりする 説明することばを決めて、ものや位置について話す（支援なし）
	主体的な姿	<input type="checkbox"/> 聞き取ることができなかつたとき、どの視点を聞きたいかを明らかにしてもう一度指示を伝えてもらうように言う（L） <input type="checkbox"/> 相手に指示が伝わらなかつたとき、どのように話すかよいかを振り返る（L）										
	学習調整	<input type="checkbox"/> ものを選ぶことができなかつたとき、ものの違いを表すことばの意味を振り返り、教師と一緒に意味に合うものを、メモシートを見て確かめる（LJM）										
	配慮的に扱う内容	<input type="checkbox"/> 相手に伝わる声の大きさや話す速さを判断する（L）										

(4) 展開

学習活動	教師の意図と働きかけ		
	J	M	L
<p>1. 本時の活動内容とめあてを知り、学習活動への意欲をもつ。</p> <p>2. ものや位置を説明することばの意味を確かめ、指示に合うものを選んだり、話したりする。</p>	<p>○本時の活動に見通しをもてるように、授業全体の流れを板書で示して知らせる。</p> <p>○本時で頑張ることや活動がわかるように、めあてと活動の仕方を示し伝える。</p> <p>○学習に意欲的に取り組むことができるように、『ポプラデリバリー』で指示通りに配達できるとポイントシールを得ることができることを伝える。</p>	<p>○前時で学習したことを思い出し学習に取り組めるように、位置の違いを説明することばにはどのようなものがあったかを問い、本時も位置の学習をすることを伝える。</p> <p>○位置の違いを説明することばの意味が定着するように、「手前」「中央」「奥」について位置シートで確かめ、ものカードをその位置に置くことを知らせる。</p>	<p>○位置を説明できるように、ものを置いた位置を「【どんなもの】を【位置】に置きました」と報告するようにする。</p>
	<p>○ものや位置の違いを説明することばの入った指示を出し、指示に合うものを選ぶことができるか様子を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手前」「中央」「奥」を聞いて、指示と異なる位置に置いた場合には、正しい位置がわかるように、確かめシートを重ね、「手前」「中央」「奥」それぞれの自分との位置関係をことばと指さして伝えるようにする。</li> <li>・指示と異なるものを選んだ場合には、違いを説明することばに注意して聞くことができるように、どのことばを聞くと正しく選べるかを問い、指示をもう一度伝える。また、説明することばの意味を確かめられるように説明早見表を提示し、選んだものカードと他のものカードを並べて比較するようことばをかける。</li> <li>・指示を聞いて手が止まった場合には、何を聞き取ればよいかわかるように、メモシートに印をついていない箇所を示し、もう一度指示を伝える。</li> <li>・指示と異なる行動をした場合には、「持っていく」「持ってくる」それぞれの動作がわかるように、カードを持っていく場合には自分から離れるようにし、もってくる場合には、離れたところから自分の方に動かして示し、もう一度指示を伝える。</li> <li>・指示に合うものを選んだ場合には、ものことばの意味を一致させられたことで、正しく聞き取れたことがわかるように、メモシートと選んだものを示し、みとめのことばをかける。</li> <li>・指示に合う位置を選んだ場合には、位置とことばの意味を一致させられたことで、正しく聞き取れたことがわかるように、確かめシートを重ねて位置とことばの意味を確認し、正しく聞き取れたことを認める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示と異なるものを選んだ場合には、違いを説明することばに注意して聞くことができるように、どのことばを聞くと正しく選べるかを問い、指示をもう一度伝える。また、説明早見表で、違いを説明することばとそのことばが表すイラストの状態を見るように伝える。</li> <li>・指示を聞いて手が止まった場合には、どのことばを聞き取ればよいかわかるように、ものと位置のどちらを知りたいか尋ね、聞きたい部分をもう一度言う。</li> </ul>	
<p>3. 『ポプラデリバリー』で、ものや位置を説明することばに合うものを選び、持って来たり、持って行ったりする。</p>	<p>○『ポプラデリバリー』で、ものや位置の違いを説明することばの入った指示を聞き取り、指示通りにものを持って来たり、持って行ったりしてポイントを集めることを伝える。</p> <p>○指示に合うものや位置を選ぶことができるように、ものや位置の違いを説明することばの入った指示を出し、指示に合うものや位置を選んだ場合には、ものことばの意味を一致させられることで、正しく聞き取れることがわかるように、説明早見表や確かめシートを見せ、みとめのことばをかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示に合う行動ができたとき、「持っていく」「持ってくる」のことばを正しく聞き取って行動できたことをカードを動かして行動を振り返り、みとめのことばをかける。</li> </ul>		
<p>4. 本時を振り返り、次時への意欲をもつ。</p>	<p>○ものや位置のことばと意味を一致させることができると、指示通りに行動できることを振り返ることができるように、振り返り問題を1問出題し、それぞれの机上で取り組むことを知らせる。</p> <p>○次時への意欲をもつために、指示を正しく聞き取るとポイントを獲得できることを伝える。</p>		